

令和4年11月17日

滝沢市議会議長 日向 清一 様

滝沢市議会議員 藤原 治

政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）実施報告書

滝沢市議会の政務活動費の交付に関する条例第9条に規定する使途基準に基づき、政務活動（調査研究・研修・要請陳情等）を実施したので、報告します。

記

1 期日

令和4年10月17日（月） から 令和4年10月18日（火） まで

2 活動場所

- ①日本青年館8Fカンファレンスルーム「イエロー」
（東京都新宿区霞ヶ丘町4-1）

3 活動内容

別紙のとおり

政務活動シート

調査主体: 藤原 治

調査項目名称	調査研究(視察含む) ・ 研修 ・ 要請陳情等
活動の理由 及び その目的	<p>「住民主体の地方自治を進めるため」との主テーマで開催されるセミナーを受講することによって、住民自治日本一を目指す滝沢市議会議員として、今後の議員活動に資すると考え参加した。</p> <p>また、このセミナーは様々な分野で活動をしている6名の講師により構成されており、ますます多様化する住民自治のあり方の参考とするため。</p>
活動概要	<p>●実施日 令和4年10月17日～令和4年10月18日</p> <p>●場 所 日本青年館ホテル(新宿区霞ヶ丘4-1)</p> <p>●内 容</p> <p>「住民主体の地域を実現する」ためのセミナー受講 (清溪セミナー6講演)</p> <p>10/17 ①今あらためて地方創生を考える(石破 茂)</p> <p>10/17 ②人口5000人の小さな町はなぜ進化し続けるのか(大南 信也)</p> <p>10/17 ③地方創生 議会と自治体が果たすべき役割(木下 斉)</p> <p>10/18 ④コミュニティ創生とDX化の課題(清原 慶子)</p> <p>10/18 ⑤働き方改革の方法 コンサル事例からの紹介(小室 淑恵)</p> <p>10/18 ⑥若者が声を届け、その声が響く社会を目指して(能條 桃子)</p>
活動成果	<p>①今あらためて地方創生を考える(石破 茂 :衆議院議員)</p> <p>「これまでの地方創生と今は違うのか。違うと考えるべき。竹下元総理時代と違い、当時は、失敗しても国がつぶれる危機感は無かった。今は、経済成長期の時代でもなく、人口増も見込めない時代なので危機感をもって行うべき。霞が関の人が、地方の小さな都市の実態をわかるはずがない。地方が考えるしかない。」との講義内容が印象に残った。</p> <p>課題は、地方によって異なり様々な問題があるため、地方自らが危機感を持って取り組まなければいけないという事を再認識した。</p> <p>②人口5000人の小さな町はなぜ進化し続けるのか(大南信也:財団代表理事)</p> <p>「人口減少を受け入れ、人口の中身を変えるという考えの下、”神山プロジェクト:仕事を持った移住者の誘致・場所を選ばない企業の誘致・社会に変化を生み出すテック(IT等の技術)人材の創造”を柱とするプロジェクトを実施。具体的には、国内外のアーティストを一時滞在してもらい、その滞在を住民がサポートする」という始めの取組みが印象的だった。</p> <p>人口減少を食い止めるため、日本の田舎をステキに変えるために手を加えて行くというやり方は、実際は大変で時間の掛かる事ではあるが、その地域に合った方法で、時間をかけて丁寧に取り組む必要があると考える。</p>

活動成果

- ③地方創生 議会と自治体が果たすべき役割(木下 斉 :一社 代表理事)
「実利的な方策を取るためには他力本願ではなく、百人の合意より一人の覚悟が大事。多くのワークショップで出された計画は、誰も自分のプランと思っていなく、責任が無くくまくいっていない。
また、総合計画に関しては、どこの自治体も最初の第一次計画がすごい。それぞれの課題や目標が違う中で、基本構想が難しくなるのは当たり前。市民向けにはパンフレット等でわかりやすくするのは良いが、構想や計画を簡単にすべきではない。」などの内容が印象に残った。
魅力的な民間の力を地域の味方に取り込むなどが生き生きと語られ、非常に参考になった。
- ④コミュニティ創生とDX化の課題(清原 慶子 ;前三鷹市長)
「次期教育振興基本計画の諮問において“ウェルビーイング”一人ひとりの多様な幸せであるとともに、社会全体の幸せの観点に記載された。また、超スマート社会(Society5.0)においても重要な考え方であり、更には新設される子ども家庭庁においても同様である」とのこと。しかしながら、参加した議員中ウェルビーイングを聞いたことのある割合は3分の1のみであり、まだまだ浸透していない用語であると感じた。
本市の「次期総計の基本構想(案)」では、このウェルビーイングの考えを主にしたものとなっていることから、慎重に審議していく必要があると再認識した。
- ⑤働き方改革の方法 コンサル事例からの紹介(小室 淑恵:株式会社代表)
「結婚・出産の増加、残業や離職率の減少、さらに業績が向上する働き方改革を資料を明示しながらの講習であり、説得力のある講義であった。」市役所内の改革はもとより、全ての企業が基本とすべき今後の方向性と感じた。
特に「人口ボーナス期から人口オーナス期(労働力減少時代)となった現在、その転換が、今後を左右することが理解できた。
もう1点は、「インターバル制度(従業員の健康管理やワーク・ライフ・バランスの確保)」の重要性を再認識させられた。
- ⑥若者が声を届け、その声が響く社会を目指して(能條桃子:一社代表理事)
「若い世代・女性の活動が政治に反映されるような活動を考え実行している。大人が子どもにどんな姿勢を見せられるかに重点を置きまた誰でも選挙結果などのデータが分析できるような仕組みづくりをしている。」
今回の市長選の投票率が50%を大きく下回り、また、議会の構成年齢・女性比率にも課題がある。ぜひ参考にして参加しやすい環境を整える必要性を感じた。

研修会日程表

年月日	時刻	行程
令和4年10月17日(月)	8:20 8:50 ~11:04 11:15~11:40 11:55 12:30~18:10 18:15	盛岡駅集合 盛岡駅⇒東京駅 (JR新幹線はやぶさ10号) 東京駅⇒千駄ヶ谷駅 (JR中央線、総武線) 千駄ヶ谷駅から徒歩にて会場着 初日研修 日本青年館ホテル (研修会場と同じ) チェックイン
令和4年10月18日(火)	9:00~15:15 15:50 15:50~16:10 17:20~19:33	2日目研修(昼食休憩12:20~13:45) ホテルから徒歩にて千駄ヶ谷駅に着 千駄ヶ谷駅⇒東京駅 (JR総武線・中央線) 東京駅⇒盛岡駅 (JR新幹線はやぶさ39号)